

# ねっとわーく

## 市町村のページ [シリーズ：公民館と子どもたち]

- ・ 公民館と子どもたち ……福岡市・名島公民館
  - ・ 砧の里・水巻町ふれあい館(水巻町文化連盟25周年事業)  
……水巻町・中央公民館
  - ・ 通学合宿を通じた子育て支援……うきは市・大石公民館  
(東高見地域おこし実行委員会)
  - ・ みのしまアンビシャス広場 ……行橋市・蓑島公民館
- こちら県公連
- ・ 平成23年度福岡県公民館実践交流会の報告
  - ・ 平成23年度福岡県公民館地区別研修会ー実施状況ー

平成24年3月 公民館情報通巻122号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7  
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内  
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

## シリーズ：公民館と子どもたち



【日帰りキャンプ】(宮若町千石峡キャンプ場)

# 公民館と子どもたち

## 福岡市名島公民館

名島校区は、多々良川河口域の右岸に位置し 6,500 世帯、約 15,000 人が住み、1 小 1 中（名島小学校・松崎中学校）の校区です。自然や名所旧跡にも恵まれ、交通の便もよく新興住宅の増加で子どもの人口も増えています。

### 校区は子どもを育む大きな家族

公民館では、子どもの健全育成関連事業として「名島こどもひろば」を開設して 10 年目になります。子ども達に様々な体験学習を通してたくましく生きる力を育む事を目的として、ボランティアスタッフ約 70 人(講師役、見守り役)の協力のもと取り組んでいます。

また、こどもひろばに参加していた子ども達が、高校生や大学生になって、お兄ちゃんお姉ちゃん役を引き受けてくれています。

その高校生が、平成 23 年 12 月に開催された市民フォーラム「子どもにやさしいまちづくり」でリレートーク「子ども・若者からの発信」に参加しました。「名島公民館での体験を後輩達に」というテーマで、「自分自身がスタッフ会議に参加して感じた事」、

「校区の大人達が子ども達の事を考えてくれて、楽しい居場所になっている。楽しいから子ども達はやって来る。大人は子ども達から元気を貰っている」と発表しました。

日々変化する課題の中で、将来を担っていく子ども達を「校区は子どもを育む大きな家族」を合言葉に、これからも子ども達の豊かな心をボランティアスタッフと共に見守り育んでいきたいと思えます。



新 1 年生を迎えて百年公園(近隣)まで遠足です。お昼は、焼きそばとおにぎり高学年がリーダーさんと一緒にゲームなどで遊びます。  
(参加：149名)

#### 【歓迎遠足】

#### 【日帰りキャンプ】

(宮若町千石峡キャンプ場) 小学 1 年～6 年とスタッフで、自然の中で川の流に任せてプ～カプカ！バーベキューにスイカ割り等楽しく過ごしました。  
(参加：138名)



【スタッフ会議：毎月 1 回】



【第 10 回市民フォーラム会場、発表者】

〔所 在〕〒813-0043 福岡市東区名島 2 丁目 4 2 - 2 6 福岡市名島公民館

〔連絡先〕TEL：092-681-0155・FAX：092-681-0350・E-mail：najima42@jcom.home.ne.jp



## 砧の里・水巻町ふれあい能（水巻町文化連盟 25 周年事業）

水巻町中央公民館は、人口 3 万人が憩い楽しむ文化交流の拠点として昭和 61 年に開館され平成 23 年で 25 年になりました。二人三脚で歩んできた水巻町文化連盟も設立 25 年の節目の年であり、現在約千人の会員が 71 サークルで文化活動をしています。

文化連盟設立 25 周年を記念して、水巻町教育委員会と共催で「砧の里・水巻町ふれあい能」を平成 24 年 1 月 29 日（日）中央公民館の大ホールで開催することになりました。これは秋の文化祭で毎年留学生、子ども能楽発表会を開催している宝生流の講師の発案を、会長を教育長とする実行委員会で決定しました。

コンセプトは能「砧姫」発祥の舞台となった町の文化的財産を題材に展開することです。

立屋敷地区には県天然記念樹の大銀杏があり、これには大和武尊（やまとたけるのみこと）と在郷の美女、砧姫（き

ぬたひめ）が銀杏の木を育てたという悲恋物語の伝説があります。地元の皆さんが大切に慈しんでいる巨木であります。

また猪熊地区には砧太鼓を演奏する子ども太鼓育成会もあります。

第一部「砧の響き」はこれらの郷土の伝説を題材にした創作舞台で無料としました。第二部は、能楽師 佐野 登氏、狂言師 野村 萬斎氏等出演による有料公演としました。

また住民参加型ワークショップ方式も特色です。ただ著名人による公演会に終わらせないよう事前に、小学校 5 校での能楽出前講座を 5 月から始め、6 月には参加者を募集して大人・留学生の謡隊で謡曲「土蜘蛛」、子どもは「鶴亀」を練習し第一部にコラボレーションしました。

当日の成果は上々で多くの来館者のアンケートでも好評とありました。中央公民館

においても事業の中に青少年が伝統芸能に触れあえる事業を模索してただけに、小学校と連携した出前講座や謡隊のメンバーには謡の稽古もできる能楽を身近に親しめる共催事業になりました。

事業は 480 万円の事業費となりましたが実行委員会方式で「地域の芸術環境づくり助成事業」、「子どもゆめ基金助成金」の助成を受けることができ、大きな事業ができました。



砧姫伝説「砧の響き」（1 部）



能楽謡隊「鶴亀」（1 部）



能楽謡隊「土蜘蛛」（1 部）



狂言 附子（2 部）



能 土蜘蛛（2 部）



小学校出前講座

〒807-0022 福岡県遠賀郡水巻町頃末北 1-1-2

水巻町中央公民館 公民館係 電話 093-201-4321 (代表)

## 通学合宿を通した子育て支援 ～大石公民館（東高見地域おこし実行委員会）～

うきは市は、福岡県の南東部に位置し、北は朝倉市、西は久留米市、南は八女郡、東は大分県日田市と接する人口 33,000 強の小さな市である。このうきは市の中にある東高見地区は、小さな分館が 6 区集まって構成された地区である。

地区では、テレビゲームやPC等の普及による子供たちの人間関係の希薄化や、教育力の低下が問題となっている現状を憂慮し、家庭や地域の教育力を高めること、生活・自然体験の充実によって子どもたちの心を豊かに育むこと、地域社会で子どもたちの体験活動の充実を図ることを目的として、地区内の有志で地域おこしの団体を発足させ 6 泊 7 日の通学合宿に取り組んだ。

### <実践の内容>

結果的に、参加者は 3 年生 3 名・4 年生 9 名・5 年生 2 名合計 14 名と、6 年生不在の通学合宿となったが、最上級生が不在の分、みんなで力を合わせ 7 日間の貴重な日々を過ごすことが出来た。

7 日中 3 日間は「学びと生活の日」として、下校から登校までの生活体験を中心に取り組み、夜間は地域の方との交流する『ソフトバレー』・『キャンプファイヤー』、さらに外部講師を依頼し『夜の学習会』を実施した。

一方、休日の 4 日間は、それぞれの日を「命の日」として『消防署防災体験』、「川の日」として『いかだ流し』・『魚取り』、「地域の日」として『地域探訪』・『グラウンドゴルフ』、「山の日」として『鷹取山登山』を実施するなど様々な体験学習を行った。



### <地域の方々の協力>

今回の取組みで特筆すべき点は、地域おこし実行委員会を中心とした地域の方々の関わりが非常に深かったことである。通学合宿の運営については、実施主体である「東高見地域おこし実行委員会」を中心に組織を編成し、統括責任者に東高見地域おこし実行委員長、副統括者にうきは市公民館長・大石公民館長を、実行責任者に東高見地域おこし実行委員副会長があたった。また、顧問に大石小学校校長・大石駐在所・東高見研修会館長・消防分団長を、さらに、事務・運営責任者に、東高見地域おこし実行委員会・うきは市公民館職員・大石公民館主事を充てた。特に通学合宿の期間中、日々の責任者として 1 区から 6 区の区長・分館長に交代で宿泊いただき、研修会館役員、子ども会育成委員、老人会、民生委員、福祉関係の女性部等の方々に食事や生活指導をお願いするなど、地域総がかりで対応したことはこの地域の絆の強さを感じさせるものであった。



### <今後の課題等>

活動内容は素晴らしいものであったが、次世代を担う子供たちの育成のために、今後も地域が一丸となって継続することが重要である。地域の方々の高齢化等の人的支援面や経費等の問題を踏まえ、学校をはじめとする関係者との連携を種種検討していく必要がある。今後も、地域の子供達と大人達と合同で体験活動を行い、子供と大人と地域と一緒に成長し発展できるよう歩んでいきたい。

# みのしまアンビシャス広場

行橋市蓑島公民館

## 事業の概要

夢や希望に満ち、地域の人々と楽しく交流できる子ども達(小学生、中学生)を地域ぐるみで育てるために、放課後や休日に気軽に立ち寄れる場所を蓑島公民館に開設し、いじめのない子ども社会及び青少年の健全育成を目指しています。

## 活動内容

子どもたちが、放課後や休日にいつでも気軽に立ち寄り自由に過ごせるように、週二日、蓑島公民館で開所しています。体験活動では、関心を高めるため、校区の行事(文化祭、春祭り、盆踊り大会等)に積極的に参加しています。

また、イベントとして子どもたちに人気のソーメン流し、石焼芋作り、クリスマスパーティー、ケーキ作り等を取り入れています。さらに、平成22年度は子どもたちの体力作り(野外活動)と、今川小学校児童との交流活動として、ハゼ釣り大会、馬ヶ岳登山を実施しました。このような他校児童との交流を深める活動が出来たことは良かったですし、子どもたちにとっても良い思い出になったと思います。



そうめん流し



ケーキ作り

## 事業の成果

- ・ 男女、学年の差を越えて子どもたちが協力し合う、体制づくりが進んだ。
- ・ よく挨拶ができるようになった。
- ・ 開所していない曜日、時間でも子どもたちは、公民館に集まるようになった。

## 問合せ先

〒824-0011 行橋市大字蓑島179-2

行橋市蓑島公民館 ☎・FAX0930-22-5010



# 平成23年度「福岡県公民館実践交流会」

## ～ 報告 ～

平成23年度「福岡県公民館実践交流会」を平成24年2月1日（水）に春日市クローバープラザにおいて開催しました。

今年度の参加者は862名（昨年度726名）で、例年を大幅に上回りました。公民館等関係者の方々の研修意欲が年々高くなってきていることを実感している次第であります。

本年度も合計16事例の実践発表と活発な質疑応答や意見交換、情報交換が行われ、盛会のうちに終了することができました。

以下のアンケート結果にも掲載していますが、回収できた参加者の95%の方から「大変参考になった」、「参考になった」と高い評価をいただいています。また、会場を「クローバープラザ」に移行したことについても、約90%が「よかった」と評価してあります。

なお、実践発表の内容については、「公民館福岡」に掲載していますので、そちらの方もぜひご覧ください。



開会行事（表彰式）の様子



実践発表の様子



実践発表会場の様子



質疑応答の様子

平成23年度福岡県公民館実践交流会参加者アンケート

(H24. 2. 1)

○ 回答数 (46.7%)

	参加数				回答数			
	市	町村	県等	計	市	町村	無記入	計
計	608 (27)	214 (26)	40	862 (53)	280	105	5	390
%	28 96.4	32 81.3		60 88.3	71.8	26.9	1.3	

\* ( ) 内の数は参加市町村数である。

\* 参加数欄の%は本県の市数および町村数に対する割合である。

3 公民館活動年数

年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10以上	無回答	計
計	91	72	46	30	31	19	12	13	8	33	35	390
%	23.3	18.5	11.8	7.7	7.9	4.9	3.1	3.3	2	8.5	9	100

4 実践発表の数

事項	適当	多い	少ない	無回答	計
計	323	48	3	16	390
%	82.8	12.3	0.8	4.1	100

5 プログラムの時間配分

① 実践発表

事項	適当	長い	短い	無回答	計
計	343	6	37	4	390
%	88	1.5	9.5	1	100

② 質疑応答

事項	適当	長い	短い	無回答	計
計	322	23	25	20	390
%	82.6	5.9	6.4	5.1	100

6 実践交流会の参加

事項	大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった
計	134	235	16
%	34.4	60.2	4.1

事項	参考にならなかった	無記入	計
計	0	5	390
%	0	1.3	100

7 分科会の会場

事項	今回の会場が良い	別の会場が良い	無記入	計
計	350	19	21	390
%	89.7	4.9	5.4	100

## 8 感想・要望

### ○意見・感想等

#### <会場について>

- ・ 分科会が近くて非常に良かった。
- ・ 設備(暖房、明るさ、音響など)が良かった。広くて立派であった。座り心地が良かった。
- ・ 駐車場がほしい(遅れて到着し参加した場合)。分からなかった。とめにくい。
- ・ 駐車スペースも多く良かった。
- ・ 交通機関から近いと良かった。便利であった。
- ・ テーマと会場の組み合わせに工夫が必要。
- ・ 会場案内が徹底しておらず迷った。

#### <内容>

- ・ 内容を絞って発表してほしい。
- ・ 一人一人が意見を言えるような交流会になればよい。
- ・ 大変まとまっていたと思う。
- ・ 具体性に欠ける発表が一部あった。もう少し時間を考えて発表をしてくれると更に良い。
- ・ ベンチャーズ生演奏企画は、単なるアトラクションではなく、街おこし活動をしている中での「発表の場」はやはり迫力があつた。ユニークで良い。
- ・ 前置きが非常に長く、早く核心の話をしてほしかった。
- ・ さまざまな実践を聞いて、リフレッシュできた。地域の活動状況が分かった。

#### <発表の方法、資料に関して>

- ・ パワーポイントを使用する発表が多くなったが、資料としても見づらいし、会場からもとても見にくい発表があつたので工夫してほしい。
- ・ 関係のない質問はしないでほしい。一人一問一答が良いと思う。
- ・ 資料に番号をつけて会場ごとか時間帯ごとに分かりやすく見やすくしてほしい。
- ・ 資料やレジユメの様式(参加者や率、予算などの必ず質問されると予想される項目を入れておくなど)を統一してはどうか。
- ・ 受講できなかった別会場の資料もそろえてあつたので、自宅で参考資料として勉強できるので良心的であつた。

#### <プログラム>

- ・ 自治公民館の取り組み、自治体、町内会の実践活動報告をもっと増やしてほしい。
- ・ 議題により会場を区分してあり、又、時間も守られよかつた。
- ・ 発表事例を減らし時間を確保し、発表時間や意見交流の時間を確保してほしい。
- ・ 実践発表数が多いため2日間開催が望まれる。1日参加も可能になる。
- ・ 適当な時間配分であつたと思う。自由に選べる設定で満足した。

#### <その他感想>

##### ○ 交流会自体に関して

- ・ 大変参考になつた。来て良かったと思う。
- ・ 実践交流会は、各地の実践を直接聞くことができるので続けてほしい。
- ・ 市町村の事業・情報・掲示・展示などが分かりやすかつた。
- ・ 実践交流会をもう1回増やしてもよい。
- ・ 公民館活動が地域を支えているので、各市町村の首長さんたちにぜひ聞いてほしい。
- ・ すべての会場は見られないので、各会場の発表をDVD等にまとめてもらえるといい。
- ・ 時期的に寒かつた。暖かい時期を選んでほしい。

##### ○ 内容に関する感想

- ・ 皆様のご苦勞、そしてこれからの課題に共感できた。
- ・ コーディネーターや職員の方々が非常によくされていた。
- ・ 地域のまちづくりには、地域住民をどう取り込むかが明暗を分けると思う。
- ・ 地域性が出ていた。
- ・ 地域コミュニティーの情報発信母体としての公民館の役割を再認識した。
- ・ 当市もぜひ事例発表をしたい。
- ・ 地域を見つめなおすよい機会になつた。



## 平成23年度「福岡県公民館地区別研修会」

### ～ 実施状況 ～

県内8地区で、各地区の実態に応じ、主体的な企画による研修を行いました。講演や事例発表等、各地区の公民館等関係者相互で公民館等を取り巻く状況について理解を深める内容となりました。

地区名	期 日	会 場	参加者数	主 な 内 容
北九州市	2月9日	ウエルとばた (北九州市)	360	<p>○講演 「人が集い、学び、繋がるために」 講師：九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 岡 幸江氏</p> <p>○事例発表 1 子どもの安全・安心なまちづくり 白野江市民センター 2 子どもの居場所はおとなの居場所 曾根市民センター 3 八幡大谷サマースクール やるキッズ！ 八幡大谷市民センター 4 青年ボランティア・地域・行政が共に支えた生活体験合宿 牧山市民センター</p> <p>○講評 □県公連報告—県公連の事業報告</p>
福岡市	1月18日	婦人会館	141	<p>○公民館主催事業 事例発表① 「自治協、社協と公民館の協働によるボランティア育成発掘と活動の事例」(福岡市宮竹公民館)</p> <p>○公民館主催事業 事例発表② 「楽しいまちづくり講座」(福岡市大原公民館)</p> <p>○公民館主催事業③ 「米作りを通じ絆を深める」(福岡市下山門公民館)</p> <p>○講演 「コミュニティを支援する公民館の役割」 講師：北九州市立大学非常勤講師</p>

				山下 厚生 氏 □県公連報告—県公連の事業報告
福岡地区	2月18日	志免町立町民センター	179	○大会テーマ 「これからの公民館の運営について考える」 ○講演 「地域づくり・人づくりのための公民館運営」 講師：(株) イケダオフィス・ピオ 代表取締役 池田 茂樹氏 ○分科会 ・「さまざまな公民館活動を核とした自治会及びコミュニティ運営」 (太宰府市高雄台区公民館) ・「地域に開かれた公民館活動」(新宮町下府2区) □県公連報告—県公連の事業報告
北九州地区	1月18日	直方市中央公民館	35	○研修テーマ 「地域づくり人づくりと公民館の役割」 ○基調講演 「まちづくりの新しい風」 講師：人間牧場主・年輪塾塾長 若松 進一 氏 ○事例発表 ・「公民館講座とボランティア活動」 (岡垣町) ・「人と人を結ぶ遠賀町民学習ネットワーク事業」 (遠賀町) □県公連報告—県公連の事業報告
北筑後地区	11月9日	うきは市うきは市民センター	124	○研究主題 「地域の特性を生かした公民館活動とコミュニティづくり」 ○講演 「コミュニティづくりは絆づくり」 講師：日田市大山町・和都村企画代表 ロバート・ワトソン 氏

				<p>○実践発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1年間の活動～半世紀の歩み」 (うきは市大石公民館)</li> <li>・「動き出した公民館活動～福祉・コスモス祭りをとおして」 (うきは市千年公民館)</li> </ul> <p>□県公連報告—県公連の事業報告</p>
南筑後地区	10月6日	広川町保健福祉センターはなやぎの里	114	<p>○研究テーマ</p> <p>「多様化する地域活動における公民館の役割」</p> <p>○講演</p> <p>「笑って元気～コミュニティにおける公民館の役割」</p> <p>講師：矢野大和事務所 代表 矢野 大和 氏</p> <p>□ 県公連報告—県公連の事業報告</p>
筑豊地区	11月16日	田川市民会館	101	<p>○実践発表</p> <p>「桜町公民館の活動と成果」 (田川市桜町公民館)</p> <p>○講演</p> <p>「地域から広めよう 飲酒運転撲滅運動」</p> <p>講師：糸島市体育指導委員会 委員長 大庭 茂彌氏</p> <p>□県公連報告—県公連の事業報告</p>
京築地区	1月19日	吉富町フォーユ一會館	65	<p>○研究主題</p> <p>「地域における公民館の役割」</p> <p>○講演</p> <p>「地域における公民館の役割」</p> <p>講師：北九州市立大学非常勤講師 山下 厚生 氏</p> <p>○事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「通学合宿」(上毛町)</li> <li>・「行橋市の生涯学習教育・市民大学講座について」(行橋市)</li> </ul> <p>□県公連報告—県公連の事業報告</p>
計			1119	



